

令和 8 年度净化槽清掃業務（単価契約）

仕様書

目次

1. 件名	1
2. 目的	1
3. 契約範囲	1
4. 実施場所及び対象設備	1
5. 実施期間	1
6. 業務内容	1
7. 実施体制	2
8. 業務に必要な資格	2
9. 支給品	2
10. 提出書類	2
11. 検収条件	2
12. 検査員及び監督員	3
13. 特記事項	3
14. グリーン購入法の推進	4

別添　浄化槽設置一覧表

1. 件名

令和 8 年度浄化槽清掃業務（単価契約）

2. 目的

本仕様書は、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所（以下「原子力機構」という。）の浄化槽清掃業務を受注者に請負わせるための仕様について定めたものである。

浄化槽の正常な機能を維持し、生活環境の保全を図るために清掃を実施する。

受注者は、浄化槽の構造、関係法令を十分理解し、受注者の責任と負担において計画立案し、本業務を実施するものとする。

3. 契約範囲

浄化槽の汚泥引抜き清掃

4. 実施場所及び対象設備

茨城県那珂郡東海村大字白方 2 番地 4

日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所 各浄化槽（詳細は別添のとおり。）

茨城県那珂郡東海村大字白方 2 番地 15

日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所北地区 各浄化槽（詳細は別添のとおり。）

茨城県那珂郡東海村大字白方 1 番地 1

日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所北地区警備詰所浄化槽（詳細は別添のとおり。）

5. 実施期間

(1) 実施期間

令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日

ただし、土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始、原子力機構夏期休暇推奨期間、原子力機構創立記念日、その他原子力機構が指定する日を除く。

浄化槽は年間連続稼働しているため、令和 8 年 4 月 1 日（水）の週から本業務を開始する。

(2) 実施時間

9:00～17:30 の時間帯に実施する。

6. 業務内容

本業務を実施するに当たっては、本仕様書に定める事項の他、受注者の責任と負担においてあらかじめ各浄化槽の構造、取扱方法及び関係法令を十分理解の上、浄化槽の汚泥引抜清掃を実施するものとする。

(1) 浄化槽の汚泥引抜清掃

受注者は、原子力機構の指示により浄化槽の汚泥引抜清掃を行なう。

(2) 汚泥引抜清掃予定数量

400 m³（数量は令和 8 年度発注予定数量であり、発注数量に増減が生じた場合でも、受注者は異議を申し立てないものとする。）

7. 実施体制

受注者は、原子力機構が原子力の研究・開発を行う機関であるため、高い技術力及び高い信頼性を社会的にも認められていることを認識し、原子力機構の関係法令及び規定等を遵守し、安全性に配慮し業務を遂行しうる能力を有する者を従事させること。

受注者は、業務を確実に実施できる体制をとるとともに、以下に示す体制をとること。

①総括責任者及び代理者を選任すること。

②総括責任者及び代理者は、次の任務に当たらせること。

1)受注者の従事者の労務管理（要員の人員調整を含む）及び作業上の指揮命令

2)本契約業務遂行に関する原子力機構との連絡及び調整

3)受注者の従事者の規律秩序の保持並びにその他本契約業務の処理に関する事項

③総括責任者は、常時連絡をとれる状態とすること。

④トラブル発生時に迅速な原因究明、復旧の対応がとれる総合的な体制を有していること。

8. 業務に必要な資格

作業責任者等認定制度現場責任者

作業責任者等認定制度に基づく現場責任者の認定を有している者を1名以上配置すること。

なお、作業責任者認定制度に基づく現場責任者がいない場合、原子力機構に受講申請を行い業務開始までに認定（研修期間は新規認定、更新認定（3年ごと）とともに、原子力機構の実施する作業責任者等教育：2時間）を受けること。

9. 支給品

業務に必要な水

10. 提出書類

- | | | |
|---------------------------|------|----|
| (1) 淨化槽清掃業許可証の写し | 契約後 | 1部 |
| (2) 総括責任者届（原子力機構指定様式） | 契約後 | 1部 |
| (3) 実施要領書 | 契約後 | 1部 |
| (4) 作業員の経験・知識（原子力機構指定様式） | 契約後 | 1部 |
| (5) 工事・作業管理体制表（原子力機構指定様式） | 契約後 | 1部 |
| (6) 淨化槽清掃記録カード | 毎月 | 1部 |
| (7) その他機関が必要とする書類 | 必要部数 | |

提出場所

原子力機構 工務技術部 工務第2課

11. 檢収条件

10. 提出書類の確認及び仕様書の定めるところに従って、業務が実施されたと原子力機構が認めた場合をもって業務完了とする。

12. 檢査員及び監督員

検査員

- (1) 一般検査 管財担当課長

監督員

- (1) 凈化槽の汚泥引抜清掃 工務技術部 工務第2課 運転第2チーム員

13. 特記事項

(1) 受注者は、業務を実施することにより取得した当該業務及び作業に関する各データ、技術情報、成果その他のすべての資料及び情報を原子力機構の施設外に持ち出して発表もしくは公開し、または特定の第三者に対価をうけ、もしくは無償で提供することはできない。ただし、あらかじめ書面により原子力機構の承認を受けた場合はこの限りではない。

(2) 受注者は、業務の実施に当たっては、次に掲げる関係法令及び所内規程を遵守するものとし、原子力機構が安全確保のための指示を行った場合は、その指示に従うものとする。

- ア. 凈化槽法
- イ. 茨城県浄化槽指導要綱
- ウ. 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- エ. 工事・作業の安全管理基準
- オ. 作業責任者等認定制度の運用要領
- カ. 危険予知(KY)活動及びツールボックスミーティング(TBM)実施要領
- キ. リスクアセスメント実施要領
- ク. 原子力科学研究所安全作業ハンドブック
- ケ. 原子力科学研究所 安全衛生管理規則
- コ. 原子力科学研究所 消防計画
- サ. 原子力科学研究所 事故対策規則
- シ. 原子力科学研究所 地震対応要領
- ス. 原子力科学研究所 電気工作物保安規程
- セ. 原子力科学研究所 電気工作物保安規則
- ソ. 工務技術部 防火・防災管理要領
- タ. その他関係法令及び規則

(3) 受注者は、異常事態等が発生した場合、原子力機構の指示に従い行動するものとする。なお、安全衛生上緊急に対処する必要がある事項については指示を行う場合がある。また、契約に基づく作業等を起因として異常事態等が発生した場合、受注者がその原因分析や対策検討を行い、主体的に改善するとともに、結果について機構の確認を受けること。

(4) 受注者は、従事者に関しては労働基準法、労働安全衛生法その他法令上の責任及び従事者の規律秩序及び風紀の維持に関する責任を全て負うものとする。

(5) 受注者は、原子力機構が原子力の研究・開発を行う機関であるため、高い技術力及び高い信頼性を社会的にも認められていることを認識し、原子力機構の関係法令及び規定等を遵守し安全性に配慮し業務を遂行しうる能力を有する者を従事させること。

- (6) 受注者は、本仕様書の各項目に従わぬことにより生じた、原子力機構の損害及びその他の損害についてすべての責任を負うものとする。
- (7) 「危険予知(KY)活動及びツールボックスミーティング(TBM)実施要領」及び「リスクアセスメント実施要領」に基づき、KY活動及びTBM並びにリスクアセスメントを実施し、作業の安全に努めること。
- (8) 当該設備での作業の開始及び中断並びに終了の際には、必ず原子力機構の作業関係者等へ連絡をすること。
- (9) 作業責任者等認定制度の運用に伴い、原子力機構が実施する現場責任者等の認定を受けたものが総括責任者になること。
- (10) 本業務において、当該設備の異常を発見した場合は原子力機構へ速やかに報告すること。
- (11) その他仕様書に定めのない事項については、原子力機構と協議の上、決定する。

14. グリーン購入法の推進

- (1) 本契約において、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）に適用する環境物品（事務用品、OA機器等）が発生する場合は、これを採用すること。
- (2) 本仕様に定める提出図書（納入印刷物）については、グリーン購入法の基本方針に定める「紙類」の基準を満たしたものであること。

以上

淨化槽設置一覧表 (1/3)

台帳No.	設置施設名	建設用途	処理能力 J I S 人 槽	容 量 m ³	処理方法	単独 合併	メーカー 型 式	電力使用		届出年月	取得年月
								ばつ氣用	排水用		
7	5MeVバンデグラフ	研究所	15	3.0	腐敗タンク方式 (散水ろ床)	単独	基準型		排水用	S39.1	S32.8
43	廃棄物処理場	事務所工場	16	2.6	分離接触ばつ氣方式	単独	西原ネオ SB-16	ばつ氣用		S59.7	S59.10
72	浄水場	管理室	5	1.5	腐敗タンク方式 (平面酸化)	単独	西原ネオ ST-15			S59.12	S53.3
76	野球場便所	競技場	42	5.5	腐敗タンク方式 (平面酸化)	単独	西原ネオ ST-52			S55.12	S56.3
80	高温高压ガス実験ループ建家	研究所	5	1.5	腐敗タンク方式 (平面酸化)	単独	ダイクリーン D-5			S47.6	S47.11
88	大型非定常ループ実験棟	研究所	28	4.2	分離接触ばつ氣方式	単独	西原ネオ SB-28	ばつ氣用		S57.8	S58.10
91	第1廃棄物処理棟	研究試験施設	21	3.0	腐敗タンク方式 (平面酸化)	単独	西原ネオ ST-30			S53.2	S54.3
105	使用済核燃料保管施設	作業所	5	1.5	腐敗タンク方式 (平面酸化)	単独	西原ネオ ST-15			S55.5	S57.10
107	二相流ループ実験棟	研究所	5	1.5	腐敗タンク方式 (平面酸化)	単独	西原ネオ ST-15			S56.1	S56.12
111	トリチウムプロセス実験棟	研究所	28	4.2	分離接触ばつ氣方式	単独	西原ネオ SB-28	ばつ氣用		S57.10	S59.4
112	運転手控室	事務所	16	2.6	分離接触ばつ氣方式	単独	西原ネオ SB-16 PT-700	ばつ氣用		S57.10	S58.3
114	生協事務所	事務所	16	2.6	分離接触ばつ氣方式	単独	西原ネオ SB-16	ばつ氣用	排水用	S58.12	S59.3
117	低レベル固体廃棄物保管施設	工場	5	1.4	分離ばつ氣方式	単独	西原ネオ SR-5	ばつ氣用		S60.5	S61.2
118	JRR-3実験利用棟	研究所	21	3.3	分離接触ばつ氣方式	単独	西原ネオ SB-21	ばつ氣用		S60.7	H1.3
121	JRR-3原子炉制御棟	研究所	10	1.8	分離接触ばつ氣方式	単独	西原ネオ SB-10	ばつ氣用		S61.5	S63.11
123	中央警備詰所	事務所	21	3.3	分離接触ばつ氣方式	単独	西原ネオ SB-21	ばつ氣用		S62.2	S62.4
128	再処理特研	研究所	21	3.3	分離接触ばつ氣方式	単独	西原ネオ SB-21	ばつ氣用		S62.11	S63.4
130	研修講義棟	研究施設	50	7.0	分離接触ばつ氣方式	単独	西原ネオ SB-50	ばつ氣用		S63.3	H1.3
131	JRR-4	研究所	21	3.3	分離接触ばつ氣方式	単独	西原ネオ SB-21	ばつ氣用		S63.6	S63.9
135	工作工場	事務所工場	21	3.3	分離接触ばつ氣方式	単独	西原ネオ SB-21	ばつ氣用		S63.8	S63.12
137	環境シミュレーション試験棟	研究所	10	1.8	分離接触ばつ氣方式	単独	西原ネオ SB-10	ばつ氣用		S63.10	S63.12
145	ウラン濃縮研究棟	研究所	21	3.3	分離接触ばつ氣方式	単独	西原ネオ SB-21	ばつ氣用	排水用	H1.7	H1.11
149	北門警備詰所	事務所	5	1.2	分離接触ばつ氣方式	単独	西原ネオ SB-5	ばつ氣用		H1.10	H2.2
150	計算センター	研究所	21	3.3	分離接触ばつ氣方式	単独	西原ネオ SB-21	ばつ氣用			
152	南門警備詰所	事務所	5	1.2	分離接触ばつ氣方式	単独	西原ネオ SB-5	ばつ氣用		H2.1	H2.3
155	汚染除去場	研究所	8	1.7	分離接触ばつ氣方式	単独	西原ネオ SB-8	ばつ氣用		H2.6	H2.9
156	高温工学特研	研究所	16	2.6	分離接触ばつ氣方式	単独	西原ネオ SB-16	ばつ氣用		H2.6	H2.9
159	固体汚染検査室	研究所	5	1.2	分離接触ばつ氣方式	単独	西原ネオ SB-5	ばつ氣用		H2.12	H3
160	Co60照射室	研究所	8	1.7	分離接触ばつ氣方式	単独	西原ネオ SB-8	ばつ氣用		H2.12	H3

淨化槽設置一覧表 (2/3)

台帳No.	設置施設名	建設用途	処理能力 J I S 人槽	容 量 m³	処理方法	単独 合併	メーカー 型 式	電力使用		届出年月	取得年月
								ばつ気用	排水用		
161	第1ボイラー	作業所	5	1.2	分離接触ばつ気方式	単独	西原ネオ SB-5	ばつ気用		H2. 12	H3. 3
163	(旧) リニアック棟 (J-PARC)	研究所	21	3.3	分離接触ばつ気方式	単独	西原ネオ SB-21	ばつ気用	排水用	H2. 6	H3. 3
166	JFT-2, 材料試験室	研究所	8	1.7	分離接触ばつ気方式	単独	西原ネオ SB-8	ばつ気用		H3. 8	H3
169	JRR-3地区	研究所	36	5.3	分離接触ばつ気方式	単独	西原ネオ SB-36	ばつ気用		H3. 12	H4. 3
171	タンデム棟	研究所	16	2.6	分離接触ばつ気方式	単独	西原ネオ SB-16	ばつ気用	排水用	H2. 7	H4. 5
175	低中レベル液体廃棄物処理建家	研究施設	16	2.6	分離接触ばつ気方式	単独	西原ネオ SB-16	ばつ気用		H4. 5	H6. 8
177	動力試験炉建家	研究所	36	5.3	分離接触ばつ気方式	単独	西原ネオ SB-36	ばつ気用	排水用	H5. 10	H6. 4
178	動力試験炉建家 (倉庫機械工場)	研究所	5	1.2	分離接触ばつ気方式	単独	西原ネオ SB-5	ばつ気用		H5. 10	H6. 4
180	解体分別保管棟	研究所	30	17.3	分離接触ばつ気方式	合併	西原ネオ SBC-30	ばつ気用	排水用	H9. 2	H10. 11
181	燃料試験施設	研究所	28	4.2	分離接触ばつ気方式	単独	西原ネオ SB-28	ばつ気用		H8. 2	H2. 3
184	ブルトニウム特研	研究所	8	1.7	分離接触ばつ気方式	単独	西原ネオ SB-8	ばつ気用		H10. 1	H10. 3
185	原子力コード特研建家	研究所	36	5.3	分離接触ばつ気方式	単独	西原ネオ SB-50	ばつ気用		H10. 1	H10. 9
188	第2廃棄物処理棟	研究所	16	2.6	分離接触ばつ気方式	単独	西原ネオ SB-16	ばつ気用		H10. 1	H5. 10
189	先端基礎交流棟	研究所	110	56.8	分離接触ばつ気方式	合併	イナックス CP2-2C1	ばつ気用	排水用	H10. 3	H11. 6
191	中性子標準校正棟	原子力研究施設	14	8.1	嫌気ろ床接触ばつ気方式	合併	日立化成工業 SGK2-14C	ばつ気用	排水用	H11. 7	H11. 7
192	情報交流棟	事務所	168	74.7	接触ばつ気 (流量調整槽)	合併	西原ネオ CBCH-DIV168	ばつ気用	排水用	H11. 5	
193	高度環境分析研究棟	研究施設	16	13.4	分離接触ばつ気方式	合併	西原ネオ SB-16	ばつ気用	排水用	H11. 5	
194	焼却炉建家	研究所	5	1.2	分離接触ばつ気方式	単独	西原ネオ SB-5	ばつ気用		H11. 7	H12. 3
195	新型炉実験管理棟	研究所	5	2.9	嫌気ろ床接触ばつ気方式	合併	西原ネオ AAC-5Z	ばつ気用		H12. 2	H12. 3
197	リニアック棟 (J-PARC)	研究施設 作業場	10	6.3	嫌気ろ床接触ばつ気方式	合併	西原ネオ AAC-10Z	ばつ気用	排水用	H14. 6	H17. 5
198	中央制御棟 (J-PARC)	作業場	120	35.7	接触ばつ気方式 (流量調整槽)	合併	西原ネオ NRT-D I 120	ばつ気用	排水用	H14. 10	H17. 4
199	154kV特高制御棟	作業場	5	2.9	嫌気ろ床接触ばつ気方式	合併	西原ネオ AAC-5Z	ばつ気用	排水用	H15. 2	H14. 12
200	電話交換機械室	事務所	5	2.5	流量調整型担体流動 接触ばつ気循環方式	合併	西原ネオ CMC-5Z	ばつ気用		H17. 4	H17. 9
201	特高変電所 (J-PARC)	作業場	120	37.2	接触ばつ気方式 (流量調整槽)	合併	西原ネオ NPT-D I 120	ばつ気用	排水用	H14. 10	
202	安全管理棟・食堂	食堂 事務所	432	83.0	膜分離活性汚泥方式	合併	イナックス BOD	ばつ気用	排水用	H18. 10	H18. 9
203	高温構造機器試験棟 (J-PARC)	研究施設	35	17.1	流量調整型嫌気ろ床 担体流動生物ろ過循環方式	合併	フジクリーン CRN-35	ばつ気・ 逆洗用	排水用	H19. 8	H19. 8
204	FNS棟	研究施設	21	15.2	流量調整型嫌気ろ床 担体流動生物ろ過循環方式	合併	フジクリーン CRN-21	ばつ気・ 逆洗用	排水用	H19. 10	H19. 10

淨化槽設置一覧表 (3/3)

台帳No.	設置施設名	建設用途	処理能力 J I S 人 槽	容 量 m³	処理方法	単独 合併	メー カー 型 式	電力使用		届出年月	取得年月
								ばつ氣用	排水用		
205	ホットラボ建家	研究施設	21	15.2	流量調整型嫌気ろ床 担体流動生物ろ過循環方式	合併	フジクリーン CRN-21	ばつ氣・ 逆洗用	排水用	H20.1	H20.1
206	原子炉特研・研究炉実験管理棟	研究施設	65	26.4	凝集剤添加 膜分離活性汚泥方式	合併	ダイキアクシス FCF-65	ばつ氣・ 逆洗用	排水用	H20.3	H20.3
207	JRR-1棟	研究施設	40	31.5	流量調整型嫌気ろ床 担体流動浮上ろ過方式	合併	アムズ CXA-40 三次処理	ばつ氣・ 逆洗用	排水用	H20.3	H20.3
208	廃棄物安全試験棟	研究施設	14	14.9	流量調整型嫌気ろ床 担体流動浮上ろ過方式	合併	アムズ CXA-14P 三次処理	ばつ氣・ 逆洗用	排水用	H20.3	H20.3
209	第2研究棟, 第3研究棟	研究施設	201	81.2	回分式活性汚泥 凝集剤添加方式	合併	アムズ NRG-201-4	ばつ氣・ 逆洗用	排水用	H20.3	H20.3
210	NUCEF	研究施設	50	35.7	流量調整型嫌気ろ床 担体流動浮上ろ過方式	合併	アムズ CXA-50 三次処理	ばつ氣・ 逆洗用	排水用	H20.9	H20.9
211	講堂, 構内売店, 図書館, 旧図書館	研究施設	80	28.4	膜分離活性汚泥方式	合併	クボタ KM-SG-NP-1	ばつ氣用	排水用	H20.9	H20.9
212	NSRR・安全工学研究棟	研究施設	50	35.7	流量調整型嫌気ろ床 担体流動浮上ろ過方式	合併	アムズ CXA-50 三次処理	ばつ氣・ 逆洗用	排水用	H20.9	H20.9
213	工務管理棟, 安全基礎工学試験棟	研究施設 付属棟	21	16.3	担体流動生物ろ過循環方式	合併	ニッコー 浄化王-21	ばつ氣・ 逆洗用	排水用	H25	H25
214	南地区警備室	事務所	7	2.9	担体流動生物ろ過循環方式	合併	ニッコー 浄化王-7	ばつ氣・ 逆洗用	排水用	H26	H26
215	J-PARC研究棟 (J-PARC)	研究施設	420	83.8	膜分離活性汚泥方式	合併	クボタ KM-SG-B-3A型	ばつ氣用	排水用	H25.12	H26
216	安全研究棟	研究施設	240	39.1	膜分離活性汚泥方式	合併	フジクリーンプラント PMJ I-240A	ばつ氣用	排水用	H29.9	H26
217	第4研究棟	研究所	18	5.2	接触ろ床方式	合併	フジクリーン CV-18	ばつ氣用	排水用	R2.10	R2.12
218	北地区警備詰所	原子力発電施設	5	1.5	接触ろ床方式	合併	フジクリーン CV-5	ばつ氣用	排水用	R2.8	R4.7